

糖尿病性腎症重症化予防プログラム（改訂案）及び
保健事業対象者レポート作成ツールの普及啓発のためのセミナー

フィードバックレポート(FBR)作成ツールの使い方

みずほリサーチ&テクノロジーズ

2024年2月・3月

ともに挑む。ともに実る。

MIZUHO



1. FBR作成ツールのダウンロードとインストール

(1)FBR作成ツールのダウンロード

FBR作成ツールをインストールする際には、インストールプログラム（インストーラ）が必要です。FBR作成ツールをインストーラは、以下2箇所から取得できます。

- ①厚生労働省「調査・照会システム」… 自治体の方のみ参照可
令和6年1月31日：「糖尿病性腎症重症化予防プログラム（改訂案）及び保健事業対象者レポート作成ツールの普及啓発のためのセミナーの開催について」の添付資料
- ②女子栄養大学津下一代研究室のホームページ
<https://ktsushita.com/index.php/4kenkyuhan/zyusyokayobou/>

【注意】 ご利用者によっては、外部のWebサイトからファイルをダウンロードする際に、所定の手続きが必要な場合もありますので、ダウンロード前にダウンロード可否の確認や手続きの実施などの対応をお願いします。

(2)FBR作成ツールのインストール先

FBR作成ツールは、インプットデータにKDBシステムの帳票データを使用しています。本ツールは、KDBシステムが稼働するパソコンと同等のスペックの端末へのインストールが可能です。

1. FBR作成ツールのダウンロードとインストール

(3)FBR作成ツールのインストール

指定のWebサイトからは、FBR作成ツールのインストーラが、Zipファイルに圧縮された状態でダウンロードされます。Zipファイルを解凍しますと、FBR作成ツールのインストーラが表示されます。

【注意】 インストーラはZipファイルを解凍してから実行をお願いします。

FBR作成ツールのインストールは、以下の流れで簡単に行うことができます。

- ① インストーラをクリック
- ② インストール起動メッセージ表示（「はい」をクリック）
- ③ インストール先指定（既に指定されているインストール先で実行可能）
- ④ インストール実行確認（「はい」をクリック）
（インストール実行）
- ⑤ 終了メッセージ（「はい」をクリック）

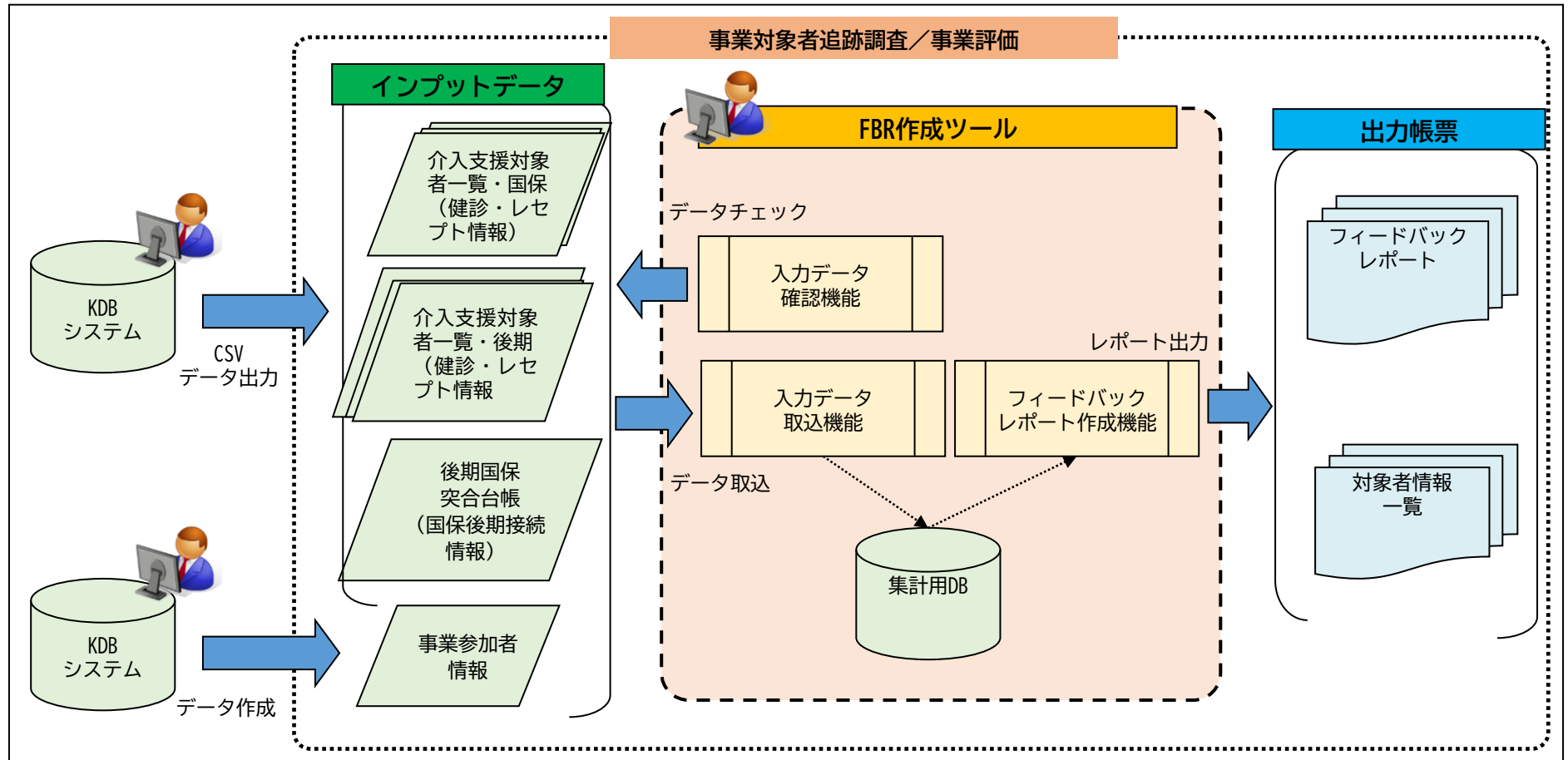
※メッセージが表示時に「はい」をクリックすればインストールは自動的に行われます。

詳細は、

「FBR作成ツールを活用した糖尿病性腎症重症化予防マニュアル」のP36～38
「1 事前準備（ツールのインストール）」をご参照願います。

2. FBR作成ツールの概要（作業の流れ）

FBR作成ツールのインプットデータ、ツールの機能、出力帳票などの概要を以下に示します。



3. FBR作成ツールの概要

FBR作成ツールの操作の流れ

- ① KDBシステムからインプットとなるデータを出力し、フォルダに格納します。
登録するデータは任意のフォルダ1か所にまとめて格納します。
- ② FBR作成ツールを起動します。
- ③ FBR作成ツールを操作して①で格納したデータの取込処理を行います。
- ④ ③に引き続いてFBR作成ツールを操作してフィードバックレポート等のアウトプット資料を出力します。

FBR作成ツールから出力される帳票一覧

表番号	表名	出力年度	対象者一覧
表1	健診受診者のうちの、糖尿病・高血圧・腎機能低下者の数、有所見率	最大5年分	
表2	糖尿病・高血圧の受診状況・検査値分類、腎機能の分類	1年分	
表3	糖尿病性腎症重症化予防事業 対象と方法の例示	1年分	出力対象
表4	HbA1c6.5%以上の者における、糖尿病受診状況、高血圧・腎機能の状況、定期受診状況	1年分	
表5	重症化予防（受診勧奨）対象者の、2年後の受診等の状況	直近年度とその2年度前	出力対象
表6	糖尿病ありの者の追跡：医療費・介護等の状況	最大5年分	
表7	重症化予防事業該当者数と参加状況	最大5年分	

4. FBR作成ツールのインプットデータ

FBR作成ツールのインプットデータには、KDBシステムから出力されたデータを使用します。KDBシステムには、最大5年間分のデータを保有しています。それに合わせてFBR作成ツールでも最大で5年分のデータが集計可能となっています。FBR作成ツールで使用するKDBデータは以下のデータとなります。

使用するインプットデータ

帳票ID	データ名称	年数	データの内容、使用目的
P27_009	介入支援対象者一覧（栄養・重症化予防等）（国保）	最大5年分	国保被保険者の健診、医療機関受診の情報。FBR作成ツールの基本となるデータとなり、全保険者の情報を出力します。
P27_009	介入支援対象者一覧（栄養・重症化予防等）（後期）	最大4年分	後期被保険者の健診、医療機関受診情報。国保で登録可能な5年間のうち、最も古い年度分を除いた最大4年分使用します。国保から後期に異動した被保険者の情報をフィードバックレポートに反映させる際に使用します。
P26_020	後期国保突合台帳	直近分	国保から後期に異動した被保険者の異動前後の個人情報が出力されます。国保から後期に異動した被保険者の情報をフィードバックレポートに反映させる際に使用します。
P27_009	介入支援対象者一覧（栄養・重症化予防等）事業参加者情報	最大5年分	KDBで保健事業の参加者管理を行っていて、フィードバックレポートに事業参加者の情報を反映させる場合、被保険者の健診、医療機関の受診情報とは別にデータを出力します。

5. フィードバックレポートの作成例

FBR作成ツールは、前ページで示した、最大で5年分のデータよりレポートを出力しますが、全てのデータを揃えられなくても出力できる仕組みになっております。その作成例と注意点をあげます。

1年分のデータによる作成例：

介入支援対象者一覧(国保)1年分のデータがあれば、表5以外のレポートを出力可能です。

出力対象年度の被保険者の情報を把握することができます。直近年度の現状把握といった用途でレポートを出力し活用します。

(なお、この4月から、KDBシステムは、これまでの5年分から10年分のデータが参照できるようになります。)

データの準備状況とFBR作成ツールの出力帳票との関係については、
「FBR作成ツールを活用した糖尿病性腎症重症化予防マニュアル」のP41
「2.2 KDBデータの準備」をご確認ください。